

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	西村山郡西川町大字入間 地内			事業主体	山形県
整備面積	3.2ha	樹種	スギ	林齢	49～50年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。</p> <p>このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・枝打ち・森林作業道 】				
整備箇所	西村山郡西川町大字間沢 地内ほか			事業主体	西村山地方森林組合
整備面積	32.4ha	樹種	スギ	林齢	16～60年生
整備内容	<p>当該箇所は、県内有数の森林資源を有する地域であるが、下刈りや除伐以降の手入れがあまり行われず、長期にわたり放置された林分も見受けられた。</p> <p>このため、本事業と森林施業直接支援事業も活用しながら、適正な立木密度となるように間伐、枝打ちを行い、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、森林作業道を開設し間伐材の有効活用も行った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 】				
整備箇所	尾花沢市大字延沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	4.61ha	樹種	アカマツ、ザツ	林齢	50～85年生
整備内容	<p>当該箇所は、アカマツと広葉樹の林であるが、枯損木の増加により荒廃し、天然更新が難しい状態であった。</p> <p>このため、本事業により枯死木や枯死に瀕した病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、下層植生及び高木性広葉樹の生育を確保し、荒廃した里山林の健全化と居住環境の保全を図った森林となることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 (間伐・下刈) 】				
整備箇所	山形市大字下東山 地内			事業主体	山形市
整備面積	1.30ha	樹種	スギ、ザツ	林齢	4～40年生
整備内容	<p>山形市では、これまで下刈り、抜き切り等の整備は殆ど行っていない、立木の成立本数も多く、過密状態であった。</p> <p>林内が暗く、猿やイノシシ等の野生動物が身を隠す空間となり、田畑及び住宅周辺に出没することが、多々あり、農作物被害に悩まされている。このことから、当事業を活用して、人と動物との共存を図る森林緩衝帯（バッファゾーン）の整備を森林で実施した。</p> <p>これまで整備した箇所での効果として、野生鳥獣による被害の軽減や目撃情報の減少などの意見が寄せられている。</p>				



整備前



整備後